



金ケ崎町立金ケ崎中学校
令和3年度校報
第15号
令和3年12月6日発行
文責：岩淵 陽

後期生徒総会

11月30日(火)に、後期生徒総会が、開催されました。前期生徒総会は、新型コロナウイルスの感染対策のため、中央委員会での承認の形をとりましたが、今回は、体育館で全校生徒が一堂に会して話し合うことができました。総会では、前期活動の総括と、後期活動の提案がされ、真剣な議論が行われました。



前期生徒会長の工藤彩世さんは、議案書の中で、

「今年度は「彩光」のスローガンのもと、日常生活や行事を通して一人ひとりが輝くことを目標に活動してきました。行事の際には、全校一人ひとりが自分の役割を意識し、個人の彩を大切にしながら、輝いている場面が多くみられたと思います。」

全校が一つになり、全員で作り上げたのがモザイクアートです。体育祭で作った「SAIKO」という人文字が、文化祭のステージに表現された時、今年度の行事で、一人ひとりが持っている個性を発揮し、全校が一つになったことが実感できました。

一年間「彩光」というスローガン掲げ、たくさんの方の活動を通して一人ひとりの大切さに気づき、全校で輝くことが、できたと感じます。後期でも新しいスローガンのもと、全校で更なる金中の伝統を作ってほしいです。応援しています。」

と前期の活動を総括し、後期の新生徒会にバトンを渡しました。

そして、新生徒会執行部は、「前期生徒会スローガン『彩光』のもと、全校一人ひとりの個性を大切に、行事などが縮小された中でも、光り輝くことができました。後期では前期で輝くことができた一人ひとりの個性を集結させ、様々な活動に全力で取り組んでほしいと考えました。また、日ごろから生活態度・学習態度を意識することで、行事中の取り組みでも活発に取り組む金中を目指します。毎日の生活から楽しいと思える学校を、全校と共に創っていききたい。」という理由から、

後期生徒会スローガンを

「共明(きょうめい)
～みんなで築こう金中文化～」

と設定しました。そして、最重点項目として

- ①日常生活
「共力(協力)し合える金中を目指して」
- ②仲間意識
「共有し合いながら高め合える金中を目指して」
- ③ボランティア活動
「地域社会と共に生きる金中を目指して」

を掲げました。

このスローガンについて、全校生徒で建設的な議論を交わし、承認されました。これで、後期の生徒会が、新しいスローガンのもと、本格的に活動を展開していくことになります。

先輩の後ろ姿から学んだことを生かし、金中生徒会らしい活動を進めてくれることを期待しています。

町内小学6年生 中学校見学

11月19日(金)、町内各小学校6年生を対象にした、中学校見学会を行いました。

はじめに、各クラスを回って授業見学、その後体育館で中学校についての説明、あらかじめ寄せられていた小学生からの質問に答えました。小学生は皆、真剣な表情で話を聞いていました。



県新人大会(後期)

11/13(土)・20(土)21(日)、岩手県中学校新人大会が実施されました。金ケ崎中学校からは柔道部、男子バレーボール部、男子バトミントン部が出場しました。

柔道部は個人で平結人さんが3位、男子バドミントン部は、団体・個人ともにベスト8、男子バレーボール部は第3位という成績を収めました。



コート上で表彰を受ける
男子バレーボール部

栄 光

令和3年度岩手県中学校新人大会

柔道競技(11/13)

個人 81kg級 3位 平 結人

第51回岩手県中学校新人大会

バレーボール競技(11/20・21)

第3位 男子バレーボール部

優秀選手賞 柏 凌央

第8回micZAQ(ミクザク)杯中学生サッカー大会(11/27)

優勝 サッカ一部

金ケ崎高等学校出前授業

12月3日(金)、金ケ崎高校の生徒による「出前授業」が行われました。これは金高生が「探究学習」で研究したものを、金ケ崎中2年生を対象にプレゼンテーションするというものです。高校生の発表は、どれもよく練られた素晴らしいもので、中学生も興味深く聞いていました。

○発表内容と発表者

1「スニーカーで世界を救う」 佐藤 慶多さん

スニーカーの歴史について流行時のエピソードを交えながら触れていく。スニーカー廃棄による環境問題にも触れ、スニーカーを回収してさまざまな物に加工していることを紹介し、身近な物を大事に扱うことの必要性を考えてもらう。



2「ハリーポッターが宗教社会に与える影響」 深澤 来夢さん

アメリカのキリスト系の学校でハリーポッターの本が置かれることが禁止されたことに疑問を持ったことから、弘前大学人文社会学部に取材に行き、調べた内容を話してくれる。神話と宗教との関わりについて考え、差別と偏見をなくすことの必要性を発表する。



3「火星に生物は存在できるか」 齊藤 琉花さん

火星の環境(重力の大きさ、地球環境との共通点)について説明し、火星人の存在についても考察する。また、劣悪な環境下でも生存できるクマムシの生存の可能性について考える。



4「生まれゆく命、消えゆく命」 鶴田 七星さん

発展途上国の医療現場の様子について調べ、発展途上国の医療の遅れを、たくさんの写真を見ながら知る。新生児の死亡率が高いことは、その国の文化水準も大きく関係していることに気づき、発展途上国の貧困への理解につながる。



5「ゲームがもたらす可能性」 千田 夏萌さん

ゲームにはマイナスなイメージが多いが、その一方でゲームの中にもシリアス開発がなされ、学習に効果的なものもある。東北大学・川島隆太教授に脳トレについて取材した内容を紹介する。



6「侍屋敷の秘密と魅力」 小原 葉菜さん

「自転車DE地域活性化IN奥州」 森岡 生吹さん

金ケ崎町内の文化遺産の紹介と、自転車を活用して地域を活性化させる提案を行う。

